

西国街道



中国行程記（山口県文書館蔵）

慶長6年（1601）、池田輝政が姫路城主となった時、城南に新たな城下町を築き、ここに西国街道を通しました。しかし本多忠政が姫路城主の時、中濠の泥をさらい、その泥をここから西の街道に敷いたため旅人が難渋し、人びとはここから南に下り、西二階町を通るようになりました。

城南連合自治会

（平成二十六年地域夢プラン継承事業）